



さて、皆さんには「自分のカラーを生かせる人になる」とことをお願いしたいと思います。私たちは考え方や好みなどが一人ひとり違つて、皆さんは一人ひとり違う色をもつてゐるのであります。例えば、初々しさがほとばしる人は「若葉色」、爽快感を味わせてくられる人は「青色」、心を熱くしてくられる人は「赤色」、ほんのりとした

「立夏」は二十四節気の立春から数えて第七の節氣です。この日に、昔中国で夏を迎える祭礼を催したといわれています。このころの季節は、まさに「目には青葉山ほどとぎす初がつお」の、山口素堂の句によく現れている若葉の季節です。太陽の高度が四十五度に達し、日差しも強くなります。まさに辺り一面若葉色に染まる美しい時期を迎えることになります。

このように私たちは、四季が織りなす様々な彩りの中で生活しています。よく現れている若葉の季節です。太陽の高度が四十五度に達し、日差しも強くなります。まさに辺り一面若葉色に染まる美しい時期を迎えることになります。

このように私たちは、四季が



自 分 の 力 ラ ー
校 長 佐 々 木 裕



立校部 A
行県等
発田高修T
秋雄研P

PTA会長に就任して
PTA会長 高橋 譲

前PTA会長 小野垣昭治さん
がこれまでの功労
が大変に顕著で
あつたとして、七月
三日に開催された、「第六十四回
東北地区高等学校PTA連合会
青森大会」で表彰されました。

今年度より、雄勝高等学校のPTA会長を仰せつかりました、高橋譲と申します。歴代のPTA会長に恥じぬ様、職務を全うして行

きたいと思っております。その為に

は、先生方はもちろんのこと、PTA会員の皆様のご協力が無ければ出来ることではありません。皆

様の御指導・御鞭撻の程、宜しく

お願い致します。

さて、新しく入学された一年生

の皆さんは、友達もたくさん出

来、雄勝高等学校の生徒としての

生徒の数が減り、小規模化が進

んでおり、更に技術系の学科・学

校も少なく、秋田県全体では若い

生徒たちが育つっていないのが現状で

あります。そのため、生徒たちが

技術者が育つていないのが現状で

あります。そのため、生徒たちが

技術者が育ついないのが現状で

あります。そのため、